

# 総合評価落札方式の 申請にあたっての留意事項 (工事)



1. CPD証明学協会等の推奨単位の変更のお知らせ  
(R6.6から継続掲載)
2. 評価項目の見直し(予定技術者居住地の設定)  
(R7.12.24公告案件～)

令和6年12月

東北地方整備局 仙台河川国道事務所

# 1. CPD証明学協会等の推奨単位の変更

(一社)全国土木施工管理技士会連合会（以下「連合会」）の推奨単位が令和6年度から改定になりました。（30ユニットの記載が削除された。）

従って、予定技術者が20ユニット取得していれば、予定技術者申請様式の「継続教育（当該団体推奨単位以上取得）の有無」は「有」となりますので留意願います。

「東北地整総合評価ガイドライン(案)（20版）も改訂になっております。(P47)

CPD証明学協会等	推奨単位	評価単位	3分の2評価単位
(一社)全国土木施工管理技士会連合会	30ユニット／年 60ユニット／2年 150ユニット／5年	30ユニット／年 60ユニット／2年 150ユニット／5年	20ユニット／年 40ユニット／2年 100ユニット／5年
	50CPD時間	50CPD時間／年	33CPD時間／年



CPD証明学協会等	推奨単位	評価単位	3分の2評価単位
(一社)全国土木施工管理技士会連合会	20ユニット／年 40ユニット／2年 60ユニット／3年 80ユニット／4年 100ユニット／5年	20ユニット／年 40ユニット／2年 60ユニット／3年 80ユニット／4年 100ユニット／5年	13ユニット／年 27ユニット／2年 40ユニット／3年 53ユニット／4年 67ユニット／5年

## 申請様式 3、3' 予定技術者の資格・経験 抜粋

海外認定・表彰制度の表彰の有無		有・無
継続教育（CPD）の取り組み	継続教育(当該団体推奨単位以上取得)の証明あり	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
	継続教育(当該団体推奨単位の3分の2以上推奨単位未満取得)の証明あり	<input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
発注機関名：		

**連合会のCPD証明書は、20ユニット以上取得で「推奨単位以上取得」が「有」となります**

書（配置予定技術者、学習履歴を証明する証明書発行団体の名称、証明期間（有効期間）等が分かるもの）の写し等の他に推奨単位が分かる資料を別途提出すること。

## 2. 評価項目の見直し(予定技術者居住地の設定)

(R7.12.24公告案件～※)

### 施工能力評価型の変更点

#### 1. 「企業の能力等」の配点見直し

企業の地域精通度（本店、営業所の所在）・・・ 最大2点 → **3点**

#### 2. 「技術者の能力等」の配点見直し

配置予定技術者の施工経験・・・ 最大7点 → **5点**

配置予定技術者の工事成績表定点点数・・・ 最大7点 → **5点**

#### 3. 「技術者の能力等」の評価項目を追加

配置予定技術者の地域精通度（地理的条件）に加算点措置

宮城県内に居住地あり

または

宮城県内の隣県（岩手県、秋田県、山形県、福島県）に居住し

競争参加者と直接的かつ恒常的な雇用関係が5年以上

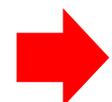
 **3点**

宮城県内に居住地なし

または

施工県内の隣県（岩手県、秋田県、山形県、福島県）に居住し

競争参加者と直接的かつ恒常的な雇用関係が5年未満

 **0点**

## 2. 評価項目の見直し(予定技術者居住地の設定) (R7.12.24公告案件～※)

施工能力評価型(Ⅱ型)の場合

分類	評価項目		配点		小計
			新	旧	
1 企業 の 能力 等	①企業の施工実績(海外認定・表彰制度による海外実績含む)		5点	5点	21～(26)点 換算後の加算点 20点 <sup>注)</sup>
	②工事成績評定点		5点	5点	
	③若手技術者(40歳以下)又は、女性技術者の配置		(2点)	(2点)	
	④表彰(優良工事施工者、インフラDX大賞、インフラメンテナンス大賞)		2点	2点	
	⑤表彰(SAFETY・安全表彰)		1点	1点	
	⑥ICTの全面的な活用(ICT舗装、ICT舗装工(修繕工))の有無		(2点)	(2点)	
	⑦登録基幹技能者等の配置の有無		1点	1点	
	⑧ 地域 精 通 度 等	(A) 地理的条件	a) 本支店、営業所の所在地	3点	
(B) 地域貢献の実績		a) 災害協定の有無・協定に基づく活動実績	3点	3点	
		b) 地域防災への協力体制	1点	1点	
		c) 河川、ダム又は道路の経常維持工事の施工実績の有無	(1点)	(1点)	
2 技 術 者 の 能 力 等	①配置予定技術者の施工経験(海外認定・表彰制度による海外実績含む)		5点	7点	22～(24)点 換算後の加算点 20点 <sup>注)</sup>
	②難工事指定工事の施工経験		1点	1点	
	③工事成績評定点		5点	5点	
	④優良工事表彰・優良工事技術者表彰及び海外認定・表彰制度の表彰		4点	4点	
	⑤継続教育(CPD)の取り組み状況		2点	2点	
	⑥ICT活用工事証明書又は週休2日実施証明書の有無		2点	2点	
	⑦地域精通度	配置予定技術者の居住地	3点	3点	
	(A) 地理的条件				
	⑧舗装施工管理技術者の有無		(1点)	(1点)	
⑨河川技術者の資格の有無		(2点)	(2点)		
3	①賃上げの実施を表明した企業等		3点	3点	3点

見直し

企業の能力等「地域精通度等」(A)地理的条件 a)本支店、営業所の所在		
評価基準	配点	
	新	旧
〇〇地域内(〇〇生活圏)に本店あり	3.0	2.0
〇〇地域内(〇〇生活圏)に支店または営業所あり	1.5	1.0
〇〇地域内(〇〇生活圏)に拠点なし	0.0	0.0

見直し

技術者の能力等「配置予定技術者の施工経験(過去15年間)」		
評価基準	配点	
	新	旧
より同種性が高い工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者あるいは現場代理人として従事	5.0	7.0
より同種性が高い工事において、監理技術者補佐あるいは担当技術者として従事、又は、同種性が認められる工事において、監理(主任)技術者、特例監理技術者あるいは現場代理人として従事	2.5	3.5
同種性が認められる工事において、監理技術者補佐あるいは担当技術者として従事	0.0	0.0

見直し

技術者の能力等「工事成績評定点(過去4年間)」		
評価基準	配点	
	新	旧
80点以上	5.0	7.0
79点	4.0	6.0
78点	3.0	5.0
77点	2.0	4.0
76点	1.0	3.0
75点	0.5	1.5
75点未満又は対象発注機関以外の成績、又は成績なし	0.0	0.0

新規

( )書きは、評価項目を選択した場合の点数

# 提出様式の記載箇所（別記様式3の例）

(別記様式3)

(用紙 A4)

## 主任（監理）技術者又は特例監理技術者の資格・施工経験

会社名

配置予定技術者の 従事役職・氏名	(旧姓・改姓後の姓 / 改姓平成 年 月 日)		
法令による資格・免許			
資格要件	<p>平成21年4月1日以降に、元請けとして完成・引渡し完了した、4.(5)②の要件を満たす工事の施工経験を有する者であること。 甲型又は乙型の共同企業体構成員の技術者として従事した施工経験については、共同企業体構成員が以下のいずれかに該当するものに限る。 ・甲型共同企業体については、構成員の出資比率が20%以上であること。 ・乙型共同企業体については、構成員が施工を行った分担工事のものであること。 なお、当該施工経験が大臣官房官庁営繕部、各地方整備局、北海道開発局及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注工事である場合は、工事成績評定点が6.5点未満のものを除く。</p>		
	入札説明書 4.(5)②(ウ)の代要件による申請の有無	無：(ア)及び(イ)を満たしている	有：(ウ)の代要件による申請
施工 経験 の 概	工 事 名 称	工事種別	
	発 注 機 関 名	契約金額	
	施 工 場 所	同種性	より同種性が高い ・ 同種性が認められる
	工 期	平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日 (従事期間：平成 年 月 日 ～ 平成 年 月 日)	
	工 事 成 績 評 定 点	従事役職	現場代理人・主任技術者・監理技術者・特例監理技術者 監理技術者補佐・担当技術者

取得)の証明あり			
週休2日実施証明書の有無	証明書有(週休2日) 証明書無	発注機関名 工事名 証明書有効 年 月 日	<b>注意!!</b>
宮城県内居住地の有無	居住地が施工県の隣県である場合	有・無	住民票の写しを提出すること。 居住開始年月日、年 月 日から
舗装施工管理技術者資格の有無		有・無	記入欄の該当内容を○で囲み、住民票の写しのほか、競争参加者(建設会社等)と直接的かつ恒常的な雇用関係が5年以上であることを証明できる資料(健康保険被保険者証又は監理技術者資格者証、市町村が作成する住民税特別徴収額額通知書、健康保険・厚生年金被保険者標準報酬決定通知書、所属会社の雇用証明書又はこれらに準ずる写し)を提出すること。

- (注1) CORINSに登録されている場合は、登録番号を記入。  
 (注2) CORINSに登録されており、かつCORINSの登録データで競争参加資格の有無及び、「より同種性が高い」で申請した時により同種性が高い工事であることが確認できる場合は、契約書等資料の写しを添付する必要はない。  
 (注3) 競争参加資格があることを確認できる内容で記載のこと。なお、CORINSの登録内容から競争参加資格として求めている施工経験及び、「より同種性が高い」で申請した時により同種性が高い工事であることを確認できない場合は、競争参加資格として求めている施工経験及び、より同種性が高い工事であることを確認できる契約書等資料及び本技術者が当該工事に従事したことが分かる資料(現場代理人等通知書の控えの写し、施工計画書の現場組織表等)も添付すること。  
 (注4) 大臣官房官庁営繕部、各地方整備局、北海道開発局及び内閣府沖縄総合事務局開発建設部発注工事の場合は、工事成績評定点を記載し、工事成績評定通知書の写しを添付すること。  
 (注5) 専任補助者を配置する場合、4.(5)②(ア)の施工経験を、(ウ)の代要件に代えることができる。ただし、代要件で申請した場合、専任補助者として申請した技術者は、競争参加資格要件の4.(5)①から⑤の資格及び施工経験を満たしていることが必要なので注意すること。  
 なお、その場合、代要件で申請する配置予定技術者が満たすべき資格・施工経験及び申請時における他工事の従事状況等について、本様式に記載すること。  
 (注6) 産休育休による「対象期間の緩和」を申請する場合は、休業期間を記載し、確認できる資料を添付すること。  
 (注7) 事業促進PPPまたはCMによる「対象期間の緩和」を申請する場合は、記載した内容が確認できる資料を添付すること。  
 (注8) 配置予定の技術者の資格については、合格証明書等の資格保有者であることが確認できる資料の写しを添付すること。  
 (注9) 優良工事または優良工事技術者表彰における配置予定技術者の従事期間は、主たる工種の全期間に従事した場合とする(主たる工種とは、2工種以上の場合金額の大きい方の工種とし工場製作は除く。全期間とは主たる工種の全数量分とする。)  
 また、CORINS登録データで主たる工種の全期間に従事したことが確認できない場合は、従事したことが確認できる資料の写しを提出すること(主たる工種と全期間に従事したことが分かる資料を提出すること。)  
 (注10) 「週休2日実施証明書」の項目が「有」の場合は、記載した該当工事の証明書の写し、又は主任技術評価官の確認印が押印された「週休2日実施証明書」発行の申請の控え(写し)又は証明書が発行される予定であることがわかる資料(様式自由)等、確認できる資料を添付すること。  
**(注11) 宮城県内居住地の項目が「有」の場合とは、入札締切日以前に3ヶ月以上居住している場合。  
 なお、居住地が施工県の隣県である場合の項目が「有」の場合とは、競争参加者(建設会社等)と直接的かつ恒常的な雇用関係が5年以上である場合。**  
 (注12) 舗装施工管理技術者資格の項目が「有」の場合は、資格者証(写し)を添付すること。  
 (注13) 健康保険被保険者証の写しを提出する場合は「健康保険番号及び健康保険者番号、番号」についてマスキングを行って提出すること。なお「恒常的な雇用関係」については